

スポーツ振興に関する取組の現状と今後の課題等について

議事の(3)関係：ア

広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))	現在の取組	今後の課題	市民意識調査項目 (<>: H14 年度実施項目 [ ]: 新規項目 : 再掲項目)
スポーツ・レクリエーション活動の振興 ア 新しい「スポーツ王国広島」の創造に向けたスポーツ・レクリエーション活動の振興 (ア) 市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興			
a スポーツセンターや運動広場などのスポーツ施設の利用を促進するとともに、これら施設やスポーツイベント等に関する情報提供の充実を図る。	スポーツ施設の利用促進 ホームページや広報紙を活用した広報活動 地域に出向き、施設のイベントやスポーツ教室への参加を呼びかけるなどの施設のPR活動 継続的な利用につなげるため、様々な体験教室を実施 幼児のための運動教室やシニア層を対象とした介護予防教室など利用者ニーズに沿った教室の実施 休館日や開館時間外の施設の有効活用(競技団体の強化練習等に使用) ロビーなどの空きスペースで児童等の作品展示、キッズスペースの設置を行い、施設の利用価値を高め、快適な環境を整備 【参考：「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】 施設やスポーツイベント等に関する情報提供 スポーツセンターにおけるスポーツ教室をはじめとする行事等の広報や地域に出向いたPR活動 広島市スポーツ協会のホームページや広報紙「ウィング」による広報 小学校へのチラシの配布 市民の様々な活動を支援するために運営している「ひろしま市民活動支援総合情報システム(ひろしま情報a-ネット)による施設や団体・サークル、イベント等の情報提供	現在の取組を継続実施しながら、市民ニーズに沿った事業の実施や情報提供内容の充実を図っていく必要がある。	[ -5] スポーツ施設において、どのような教室に参加しているか。(参加したいか。) < -3> どのようなスポーツに関する情報が一番ほしいか。 [ -4] 情報はどのような手段で入手しているか。(入手したいか。) < -11> 「スポーツに関する広報活動、情報提供の充実」の重要度

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
<p>b 区民スポーツ大会やスポーツ・レクリエーションフェスティバルなど市民が主体となつて行うスポーツイベント等を開催する。</p>	<p>市民が主体となつて行うスポーツイベント等の開催          区民スポーツ大会          ソフトボール、バレーボール、ソフトテニス、グランド・ゴルフ、ソフトバレーボール、その他区独自に実施する競技          平成18年度参加者 15,313人          平成19年度参加者 15,002人          平成20年度参加者 14,722人          スポーツ・レクリエーションフェスティバル          市民スポーツ交歓競技大会、レクリエーション運動会、スポーツ交流会、広域都市圏自治体対抗種目、ニュースポーツ体験、新体カテストなど          平成18年度参加者 62,110人          平成19年度参加者 64,696人          平成20年度参加者 67,000人          スポーツフェスタ          新体カテスト、スポーツ教室、ゲームおよび伝承遊びなど          平成20年度参加者 1,400人          市小学生スポーツ交歓大会          サッカー、ミニバスケットボール、バレーボール、陸上、体操、卓球、水泳          平成20年度参加者 4,330人</p>	<p>関係団体等と企画段階から十分に連携し、各種目の参加状況や市民のニーズを踏まえながら、事業を計画的に見直すとともに、新たな事業に取り組む必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; 1年間に一番多く参加したスポーツの行事やイベントはどれか。          &lt; -2&gt; これから参加してみたいスポーツの行事やイベントはあるか。          &lt; -5&gt; 「スポーツ・レクリエーションフェスティバルなど市民が気軽に参加できるイベントの増加、内容の充実」の重要度</p>
<p>c 学区体育協会等との連携により、市民が身近な場でスポーツに参加できる機会を拡大する。</p>	<p>学校体育施設開放事業の実施          市立の小・中・高等学校の体育施設(体育館、プール等)を学校体育の支障のない範囲で、地域住民のスポーツ活動の場並びに児童・生徒の遊び場、諸活動の場として開放している。          平成20年度開放校：小学校(140校中138校)          中学校(64校中60校)          高等学校(8校中1校)</p>	<p>新たな活動機会の提供や、より気軽に参加できる活動内容への改善に取り組むとともに、広報の充実を図っていく必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツをすることや見るのが好きか。          &lt; -2&gt; どういう場所でやりたいか。          &lt; -3&gt; どういう方法でやりたいか。          &lt; -4&gt; どういう参加のしかたを望むか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          ( &lt; &gt; : H14 年度実施項目          [ ] : 新規項目          : 再掲項目 )</p>
	<p>学区内スポーツ団体・グループの活動促進          学区体育協会への支援          スポーツセンターに配置した地域スポーツ振興担当コーディネーターが地域へ出向き、組織基盤強化に向けた取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学区体育協会行事の視察、各学区体育協会所属クラブの調査</li> <li>活動内容への指導・助言</li> </ul> <p>学区体育協会が行う地域スポーツ振興事業に対する補助金交付          平成19年度交付件数：134件(8区)          1学区あたりの平均補助金額：16万円          (学区の人口により算出し交付))</p> <p>学区体育協会が主催するスポーツ大会等に対する市長賞(レプリカ)の交付          平成19年度交付件数：90件(8区)</p> <p>【参考：「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】          体育指導委員の委嘱          スポーツ振興法に基づき、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導・助言、スポーツ行事等への実施協力を行う体育指導委員を小学校区に配置している。          平成20年4月1日現在：386人</p> <p>総合型地域スポーツクラブ設立への支援          総合型地域スポーツクラブの設立に向けた指導・助言や設立されたクラブの運営協力を行っている。</p> <p>スポーツセンター等でのスポーツ教室等の開催          体験型・実践型のスポーツ教室やスポーツ相談、スポーツイベントを開催している。</p> <p>&lt;平成19年度開催回数&gt;          スポーツ教室(16種目 294教室 7,118人)          スポーツ相談(15施設 34,050人)</p>		<p>&lt; -5&gt; どういう関わり方を望むか。          &lt; -6&gt; どういう人間関係でやりたいか。          &lt; -7&gt; どういうお金の使い方を望むか。          &lt; -8&gt; 休日にやりたいか、平日にやりたいか。          &lt; -9&gt; やりたい時間帯はいつか。          &lt; -10&gt; 何かスポーツをしているか。          &lt; -11&gt; 1年間に行なったスポーツ活動の頻度はどのくらいか。          &lt; -12&gt; これからスポーツ活動をどの程度してみたいか。          &lt; -13&gt; スポーツや運動をしている理由・目的は何か。          &lt; -14&gt; 1年間によく行なったスポーツや運動の種目は何か。          &lt; -15&gt; これからやってみようと思うスポーツや運動があるか。          &lt; -17&gt; 見てみたいと思うスポーツや運動はないか。          &lt; -18&gt; スポーツの大会や試合に選手として出場し</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14 年度実施項目  [ ] : 新規項目  : 再掲項目 〕</p>
	<p>スポーツイベント(13施設 55,905人)</p>		<p>たことがあるか。これまでの経験のなかで一番大きな大会はどれか。          &lt; -1&gt; スポーツ関係団体、スポーツ振興事業名などの認知度【学校体育施設開放事業、学区体育協会、体育指導委員、総合型地域スポーツクラブ】          [ -4] 情報はどのような手段で入手しているか。(入手したいか。)          &lt; -2&gt; スポーツをする場合に、現在困っていることで解決してほしいと思うことは何か。          &lt; -3&gt; 「地域スポーツクラブの育成など、市民が日常的にスポーツに親しめる環境づくり」の重要度</p>
<p>d 子どもの体力の向上を目指し、子どもが地域で積極的にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組む。</p>	<p>市小学生体育連盟に対する活動支援          補助金交付          平成19年度：141万6千円          市小学生スポーツ交歓大会の共催          サッカー、ミニバスケットボール、バレーボール、陸上、体操、卓球、水泳          平成20年度参加者 4,330人          地域スポーツ振興担当コーディネーターによる子ども会や児童館と連携した事業の実施          子どもまつり等のイベントにおいて、体力測定を実施          児童館でのニュースポーツや体操(跳箱、マット運動等)</p>	<p>学区体育協会等と連携し、地域スポーツ行事へ子どもが気軽に参加できるよう、子どものニーズを踏まえた事業内容や地域人材の育成について検討する必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツをすることや見るのが好きか。          &lt; -2&gt; どういう場所でやりたいか。          &lt; -3&gt; スポーツを教えてほしいか、自分で工夫してやりたいか。          &lt; -4&gt; どういうスポーツのしかたを望むか。          &lt; -5&gt; スポーツをいろいろやりたいか、ひとつの</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          ( &lt; &gt; : H14年度実施項目          [ ] : 新規項目          : 再掲項目 )</p>
	<p>の指導            スポーツ少年団大会の開催            陸上競技、サッカー、バレーボール、ソフトテニス、卓球、            軟式野球、柔道、ソフトボール、バドミントン、剣道、空手            道、なぎなた、ボウリング、少林寺拳法            平成20年度参加者 11,313人            スポーツ少年団競技別交歓会の開催            競技別交歓会            陸上競技、サッカー、バレーボール、ソフトテニス、卓            球、軟式野球、柔道、ソフトボール、バドミントン、剣道、            なぎなた、少林寺拳法            平成21年1月末現在参加者 12,509人            オープン交歓会            テニス、ホッケー、ヨット、ハンドボール、山岳、ボウ            リング、フットベースボール            平成21年1月末現在参加者 442人</p> <p>【参考：「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】</p>		<p>ことをやりたいか。          &lt; -6&gt; スポーツをひとり          でやりたいか、友達とみ          んなでやりたいか。          &lt; -7&gt; どういう参加のし          かたを望むか。          &lt; -8&gt; どういう関わり方          を望むか。          &lt; -9&gt; どういう人間関係          でやりたいか。          &lt; -10&gt; 1年間にスポーツ          はどのくらいしたか。          &lt; -11&gt; これからどのくら          いスポーツをしたいか。          &lt; -12&gt; スポーツをしてい          る理由・目的は何か。          &lt; -13&gt; 1年間によくやっ          たスポーツの種目は何か。          &lt; -14&gt; これからやってみ          たいスポーツの種目は何          か。          &lt; -16&gt; 見てみたいと思          うスポーツがあるか。          &lt; -17&gt; 選手として出場          した大会で、一番大きな          大会はどれか。          &lt; -18&gt; スポーツをする          ときに、困っていること          で解決してほしいこと          は何か。          &lt; -1&gt; スポーツは誰に教</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          ( &lt; &gt; : H14年度実施項目          [ ] : 新規項目          : 再掲項目 )</p>
			<p>えてもらうことがいちばん多いか。</p> <p>&lt; -2&gt; スポーツをどんな人にいちばん教えてもらいたいのか。</p> <p>&lt; -1-1&gt; スポーツのクラブへ入っているか。</p> <p>&lt; -1-2&gt; 入っている場合、いちばんよく参加しているスポーツのクラブはどれか。</p> <p>&lt; -1-3&gt; 入っていない場合、もしスポーツのクラブにやりたいスポーツがあったら、そのクラブに入りたいか。</p> <p>&lt; -1-4&gt; 入りたい場合、スポーツのクラブはどれか。</p> <p>&lt; -2&gt; どういう学校の部活やスポーツのクラブだったらいいと思うか。</p> <p>&lt; -1&gt; 1年間にスポーツの行事やイベントに参加したか。いちばん多く参加したものは何か。</p> <p>&lt; -2&gt; いちばん参加してみたいと思うスポーツの行事やイベントは何か。</p> <p>&lt; -1&gt; スポーツに関することについて、どのようなことをいちばん知りたい</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          ( &lt; &gt; : H14 年度実施項目          [ ] : 新規項目          : 再掲項目 )</p>
			<p>か。          &lt; -1&gt; スポーツ・運動施設について、よく使う施設と使いたい施設はどれか。          &lt; -2&gt; どのようなスポーツ・運動施設だったらいいと思うか。</p>
<p>e</p>	<p>身近にある海や川、山を活用したアウトドアのスポーツ・レクリエーション活動の振興を図る。</p> <p>身近にある海や川、山を活用したアウトドアのスポーツレクリエーションイベントの実施          川下りフェスタ(牛田公民館とのタイアップ事業)          高松山ハイキング          福王寺山散策ハイキング          三篠川ウォーキング          東郷山トレッキング          三段峡トレッキング          石ヶ谷峡トレッキング</p>	<p>関係部局・団体と連携し、本市の海・山・川を利用したスポーツ・レクリエーション活動のPRや事業内容を充実させていく必要がある。</p>	<p>&lt; -15&gt; これからやってみたいスポーツや運動があるか。          &lt; -13&gt; 「自然とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の場の整備」の重要度</p>
<p>f</p>	<p>スポーツ相談事業の実施          スポーツセンター等スポーツ施設への掲示等によるクラブ、サークルの紹介やサークル新設に向けたアドバイスの実施          各種スポーツ・健康づくりに関する相談やアドバイスの実施          ひろしま情報 a - ネットの活用          市民の様々な活動を支援するために運営している「ひろしま市民活動支援総合情報システム(ひろしま情報 a - ネット)による各種クラブ、サークルなどの情報提供</p>	<p>クラブ、サークルの紹介・あっせんについては、今後も幅広く広報活動を展開する必要がある。          指導者については紹介・あっせんを実施していないため、今後、発掘、登録、紹介、派遣の一貫したシステムの構築を検討する必要がある。</p>	<p>&lt; -1-1&gt; 1年間にスポーツの指導やイベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動をした経験があるか。          &lt; -1-2&gt; 経験がある場合、ボランティア活動の内容はどれか。          &lt; -2&gt; 今後、スポーツに関するボランティア活動をしてみたいと思うか。          &lt; -3&gt; 今後、スポーツに関するボランティア活動を行うとすれば、どのような</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料〕 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14 年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
			<p>活動を行なってみたいか。 &lt; -1&gt; 1年間にスポーツに関するボランティア活動(スポーツの大会やイベントの手伝いなど)をしたことがあるか。 &lt; -2&gt; ボランティア活動をしたと思うか。</p>
<p>g 広島市スポーツ協会等が実施するイベントや事業について企画段階からの市民参加を図るとともに、市民参加型イベントや事業を拡充する。</p>	<p>市民団体と連携したイベントの実施 施設開設周年記念イベントや学生ボランティア組織等の市民団体と連携したイベントを展開している。 &lt;開催実績&gt; 広島市民球場開設50周年記念事業 学生ボランティア組織等5団体が連携 参加者数：500人 トップスポーツチーム応援事業 ・ NTT西日本ソフトテニスクラブの応援(伴中学校ソフトテニス部) 参加者数：100人 ・ サンフレッチェ広島の応援(安佐南区民) 参加者数：200人</p>	<p>スポーツイベントの企画段階から市民ニーズの把握に努めるなど、市民の視点に立った事業展開を図る必要がある。 人材や団体の育成を図るとともに、市民が参画するための仕組みを作る必要がある。</p>	<p>[ -3] 自分や仲間と企画し実施してみたいスポーツイベントがあるか。 [ -4] あるとすれば、どのようなイベントか。</p>
<p>h 広島市スポーツ協会におけるスポーツボランティアの登録者の増加と参加機会の拡大を図るとともに、ボランティアによる自主運営ができる仕組みの検討などを行う。</p>	<p>スポーツボランティアの登録・派遣 Jリーグやセントラルリーグなどプロスポーツの試合や、スポーツ施設が主催する全市的な行事等の運営の補助を行うスポーツボランティアの登録者を管理し、派遣している。 平成18年度末現在 登録者数：244人 平成19年度末現在 登録者数：249人 平成21年1月末現在 登録者数：274人 &lt;活動内容&gt; ・ プロスポーツの試合における入場口での改札、座席案内、ゴミ回収など</p>	<p>スポーツボランティアについて広く市民に周知し、認知度を高めていく必要がある。 自主運営ができる仕組みについて、方策等の調査・研究を行う必要がある。</p>	<p>&lt; -1-1&gt; 1年間にスポーツの指導やイベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動をした経験があるか。 &lt; -1-2&gt; 経験がある場合、ボランティア活動の内容はどれか。 &lt; -2&gt; 今後、スポーツに関するボランティア活動</p>



<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14 年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
	<p>・ スポーツ施設が主催する行事等における準備、受付、案内、片付けなど</p>		<p>をしてみたいと思うか。          &lt; -3&gt; 今後、スポーツに関するボランティア活動を行うとすれば、どのような活動を行なってみたいか。          &lt; -1&gt; スポーツ関係団体・スポーツ振興事業名などの認知度【スポーツボランティア】          [ -4] 情報はどのような手段で入手しているか。(入手したいか。)          &lt; -10&gt; 「スポーツボランティアの育成、支援」の重要度</p>
<p>i</p>	<p>スポーツセンターに配置した地域スポーツ振興担当コーディネーターの指導などにより、地域スポーツ団体の活動支援や子どもを対象とした指導者などの人材育成、これら団体と人材の連携促進に取り組むとともに、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>地域団体等への地域スポーツ振興担当コーディネーターの派遣          地域スポーツ振興担当コーディネーターを地域団体等へ派遣し、地域団体等が主催する行事への運営協力や実技指導等を行っている。          平成18年度派遣指導件数：520件(8区)          平成19年度派遣指導件数：791件(8区)          地域スポーツに関する取組          地域団体との協働事業(ソフトバレーボール大会、三世代交流スポーツフェスタなど)の開催          地域団体が行う事業(レクリエーション・スポーツ大会や子どもまつりなど)への運営協力</p>	<p>「地域スポーツ振興担当コーディネーター」の活動内容及び広報の充実を図るとともに、地域コミュニティの活性化方を検討していく必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツ関係団体、スポーツ振興事業名などの認知度【地域スポーツ振興担当コーディネーター】</p>
<p>j</p>	<p>学区体育協会への支援          スポーツセンターに配置した地域スポーツ振興担当コーディネーターが地域へ出向き、組織基盤強化に向けた取</p>	<p>自主財源の確保や事業の見直し等を行いながら、市民の加入促進を図る必要が</p>	<p>&lt; -1-1&gt; スポーツや運動のクラブ・同好会に加入しているか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
	<p>組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学区体育協会行事の視察、各学区体育協会所属クラブの調査</li> <li>活動内容への指導・助言</li> </ul> <p>学区体育協会が行う地域スポーツ振興事業に対する補助金交付</p> <p>平成19年度交付件数：134件(8区)          1学区あたりの平均補助金額：16万円          (学区の人口により算出し交付))</p> <p>学区体育協会が主催するスポーツ大会等に対する市長賞(レプリカ)の交付</p> <p>平成19年度交付件数：90件(8区)</p> <p>学区体育協会のクラブ加入やイベント参加のPR          地域の掲示板や回覧板等を利用してPRしている。</p> <p>【参考：「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】</p> <p>市学区体育団体連合会への補助金交付          平成19年度交付額：14万6千円</p> <p>市小学生体育連盟への補助金交付          平成19年度交付額：14万1千6百円</p>	<p>ある。</p>	<p>&lt; -1-2&gt; 加入している場合、最もよく参加しているのは、どのようなクラブ・同好会か。</p> <p>&lt; -1-3&gt; 加入していない場合、もしやりたいスポーツや運動があったら、そのクラブ・同好会に加入したいか。</p> <p>&lt; -1-4&gt; 加入したい場合、どのようなクラブ・同好会か。</p> <p>&lt; -2&gt; これからの学校や地域のスポーツのクラブのあり方について、最も必要だと思うものは何か。</p> <p>&lt; -1&gt; スポーツ関係団体、スポーツ振興事業名などの認知度【学区体育協会】</p>
<p>k 総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、設立されたクラブの運営協力に取り組む。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブの設立支援及び運営協力</p> <p>地域スポーツ振興担当コーディネーターを地域へ派遣し、総合型地域スポーツクラブの設立に向け、学区体育協会や既存の総合型地域スポーツクラブの実態把握と新たなクラブ設立に向けたPRを行っている。</p> <p>既設立クラブに対し、必要に応じてクラブ運営に関するアドバイスを行っている。</p> <p>&lt;総合型地域スポーツクラブの設立状況&gt;</p> <p>平成21年1月末現在 5団体</p> <p>鯉城ふれあいクラブ(中区/幟町中学校区)</p> <p>FEスポーツクラブ(中区/江波中学校区)</p>	<p>総合型地域スポーツクラブの理解の促進や支援方策の検討を行うとともに、地域スポーツの受け皿のあり方について検討する必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツ関係団体、スポーツ振興事業名などの認知度【総合型地域スポーツクラブ】</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料〕 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
	<p>Koikoi スポーツクラブ(西区/己斐中学校区) 伴地区スポーツクラブ(安佐南区/伴・大塚中学校区) らくらくクラブ(佐伯区/楽々園小学校区)</p>		
<p>1 40代からの健康づくりに関する啓発とその実践を促す取組を進めるとともに、広島市老人クラブ連合会や社会福祉協議会等と連携・協力し、介護予防などにつながる高齢者の健康づくりのための事業を推進する。</p>	<p>地域団体等への地域スポーツ振興担当コーディネーターの派遣 「元気じゃけんひろしま21」の趣旨に沿い、各種機関・団体と連携し、地域スポーツ振興担当コーディネーターが地域に出向き、健康づくり事業を実施している。 区役所(健康長寿課)との連携事業 シニア健康ウォーキング、介護予防教室、メタボリックシンドローム予防教室など 老人クラブ連合会との連携事業 体力測定サポート事業 社会福祉協議会との連携事業 「いきいきサロン」指導 啓発活動と実践を促す取組 健康志向の事業の実施 ・ 健康・体力づくりに関する事業内容の調査 ・ 学区住民への健康・体力づくり等についての説明 ・ メタボリックシンドローム対策事業についての説明</p>	<p>市民ニーズを踏まえた事業展開を図る必要がある。 各種団体との連携に関する仕組みづくりが必要である。</p>	<p>&lt; -13&gt; スポーツや運動をしている理由・目的は何か。 &lt; -15&gt; これからやってみたいスポーツや運動があるか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>																					
<p>m 姉妹・友好都市とのスポーツ交流、スポーツ少年団のスポーツ交流など市民レベルの国際スポーツ交流を推進する。</p>	<p>スポーツを通じた国際交流事業の推進          姉妹・友好都市との青少年レベルでのスポーツ交流事業の実施          &lt;過去の実績&gt;</p> <table border="1" data-bbox="770 421 1335 703"> <thead> <tr> <th>都市名</th> <th>派遣事業</th> <th>受入事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホノルル市</td> <td>0回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>ボルゴグラード市</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ハノーバー市</td> <td>8回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>重慶市</td> <td>8回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>大邱広域市</td> <td>6回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>モントリオール市</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>スポーツ少年団国際・国内スポーツ交流事業の実施          他都市とのスポーツ交流等を通じて、相互理解と友好を深めることを目的に実施している。          &lt;国際交流事業実績(平成8年度~)&gt;          派遣事業(6競技7回)          受入事業(3競技4回)          シェイク ファハド広島・アジア青少年スポーツ交流事業の実施          シェイク ファハド広島・アジアスポーツ基金を活用し、アジア地域のスポーツ界の更なる発展に寄与する目的で、アジア地域の青少年とのスポーツ交流を行っている。          (基金の設置:平成7年3月)          &lt;交流実績&gt;          第1回(平成15年度)中国香港 サッカー          第2回(平成16年度)中国 バスケットボール          第3回(平成17年度)タイ 柔道          第4回、第5回は中止</p>	都市名	派遣事業	受入事業	ホノルル市	0回	3回	ボルゴグラード市	2回	1回	ハノーバー市	8回	10回	重慶市	8回	6回	大邱広域市	6回	10回	モントリオール市	1回	1回	<p>現在、実施している青少年のスポーツ交流をより推進し、市民の主体的な活動となるよう支援のあり方を検討する必要がある。</p>	<p>[ -16] 国際スポーツ交流の活動にかかわったことがあるか。          &lt; -6&gt; 「スポーツによる国際交流の推進」の重要度</p>
都市名	派遣事業	受入事業																						
ホノルル市	0回	3回																						
ボルゴグラード市	2回	1回																						
ハノーバー市	8回	10回																						
重慶市	8回	6回																						
大邱広域市	6回	10回																						
モントリオール市	1回	1回																						

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14 年度実施項目 ■ : 新規項目 □ : 再掲項目 〕</p>
<p>(イ) スポーツ・レクリエーション環境の整備</p>			
<p>a アジア競技大会や国民体育大会開催で整備された特定競技種目の設備やその活用ノウハウを生かすとともに、地域スポーツ振興担当コーディネーターによる出前講座の開催等により、特色あるスポーツセンターづくりを推進する。</p>	<p>スポーツセンターにおける特色を生かした事業展開 アジア競技大会や国民体育大会で使用した施設の設備や活用ノウハウを生かした事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合屋内プールにおける競泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み</li> <li>安佐北区スポーツセンターにおける卓球施設の特色を生かした事業展開</li> <li>安佐南区スポーツセンターにおけるアーチェリー</li> <li>湯来体育館におけるフットサル</li> </ul> <p>地域団体等への地域スポーツ振興担当コーディネーターの派遣 地域スポーツ振興担当コーディネーターが地域に出向き、地域の特色を生かした事業展開を推進している。</p>	<p>特色あるスポーツセンターづくりのための方策として、スポーツセンターで開催される事業内容を充実するとともに、ニーズを踏まえた地域スポーツ振興担当コーディネーターの活用方法などを検討する必要がある。</p>	<p>&lt; -2&gt; スポーツ・運動施設に対する期待や希望はどのようなことか。</p>
<p>b スポーツプログラマー等の資格を持つ専門職員の配置や保健センター、健康づくりセンター等との連携などにより、市民の健康づくり、体力づくりに関するスポーツセンターの相談機能の強化を図る。</p>	<p>市スポーツ協会職員の資格取得の促進 体育施設管理士、体育施設運営士等スポーツ施設の管理・運営に必要な資格の計画的取得に努めている。 スポーツドクターとの連携 スポーツセンター(安芸区を除く)において、県スポーツドクター協会と連携したスポーツドクター医事相談を行っている。</p>	<p>施設職員の資格取得を促進するとともに、相談機能の強化に向けた関係機関との連携方策を検討する必要がある。</p>	<p>&lt; -3&gt; どのようなスポーツに関する情報が一番ほしいか。</p>
<p>c 学校体育施設の利用拡大を図るとともに、未利用地等のスポーツ活動の場としての活用を検討する。</p>	<p>学校体育施設の開放 市立の小・中・高等学校の体育施設(体育館、プール等)を学校体育の支障のない範囲で、地域住民のスポーツ活動の場並びに児童・生徒の遊び場、諸活動の場として開放している。 平成20年度開放校：小学校(140校中138校) 中学校(64校中60校) 高等学校(8校中1校)</p>	<p>市民ニーズを踏まえ、利用条件や対象者等学校開放の仕組みについて検討する必要がある。 また、未利用地等について、市民が利用できるよう調査・研究が必要である。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツ・運動施設について、よく利用する施設と利用したい施設はどれか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料〕 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
<p>d 老朽化等に対応し、スポーツ施設の計画的な改修、補修や設備更新を行うとともに、バリアフリー化を推進する。</p>	<p>スポーツ施設の改修等 危険の程度など優先順位を見極め、計画的な改修等を実施 平成19年度の主な改修等 ・ 東雲屋内プール天井ガラス取替・外壁タイル改修 ・ 安佐北区スポーツセンター外壁タイル改修 ・ 南区スポーツセンター貯湯槽取替 平成20年度の主な改修等 ・ 安佐南区スポーツセンタープール屋根修繕 ・ 佐伯区スポーツセンターボイラー取替 【参考:「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】 バリアフリー化の推進 福祉環境整備の実施 ・ 誘導ブロック、手すり及びスロープの設置 ・ シャワーブースの改修 要望のあった事項についての対応 ・ プール用車椅子の設置 ・ 身体障害者用更衣スペースの準備</p>	<p>老朽化した施設が多く、限られた予算の中で計画的に改修等を行うに当たり、その方法の検討や優先順位付けについて調査・研究する必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツ・運動施設について、よく利用する施設と利用したい施設はどれか。 &lt; -2&gt; スポーツ・運動施設に対する期待や希望はどのようなことか。 &lt; -4&gt; 「高齢者、障害者が参加しやすいスポーツ環境の整備」の重要度 &lt; -12&gt; 「スポーツ・運動施設の整備、充実と有効活用」の重要度</p>
<p>e 吉島体育館の建て替えを行う。</p>	<p>施設概要 場 所 中区吉島西三丁目2番 敷地面積 3,298 m<sup>2</sup> (延床面積 2,575 m<sup>2</sup>) 構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 施設機能 体育室(32m×20m)、会議室 現在までの事業進ちょく状況 平成16年度 基本構想 平成17年度 基本設計 平成18年度 地質調査 今後の予定 平成21年度 実施設計 平成22年度 建設工事 平成23年度 建設工事、現施設解体、供用開始</p>	<p>地元住民及び関係機関との連絡調整を行い、平成23年度の供用開始に向け、事業の進行管理を着実に実行していく必要がある。</p>	<p>〔 市民意識調査になじまない。 〕</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
<p>(ウ) 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の振興</p>			
<p>a スポーツ・レクリエーション行事等への障害者の参加の促進と障害者・健常者が共に楽しめる行事等の開催に取り組むとともに、広島市障害者スポーツ協会やスポーツ団体等と連携し、それらの活動を支援する。</p>	<p>障害者スポーツ大会の実施 陸上、ボウリング、フライングディスク、水泳、卓球の5競技について、全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねた障害者スポーツ大会を実施 障害者・健常者が共に楽しめる行事の開催 市心身障害者福祉センターにおいて、障害者と健常者が共に参加できるスポーツ行事を実施 &lt;スポーツ行事の開催状況&gt; スポーツフェスティバル 種目：バレーボール・バドミントン・ボッチャ・サウンドテニス・フットサル</p>	<p>障害者スポーツへの理解の促進に向けて、地域(各区)における指導者や普及に関わる人材の育成、障害者関係団体との連携強化に取り組む必要である。(クロスセクションの活用)</p>	<p>&lt; -4&gt; 「高齢者、障害者が参加しやすいスポーツ環境の整備」の重要度</p>
<p>b 車椅子バスケットボール、シッティングバレーボールなど、障害者スポーツの振興を図る。</p>	<p>スポーツ教室の開催 市心身障害者福祉センターにおいて、車椅子バスケットボール、スキーのほか多くのスポーツ教室を実施 &lt;平成19年度開催回数&gt; 教室数：41教室、実施回数：580回、 参加人数：7,279人 市内の小・中学校や福祉専門学校等における総合学習や体験実習等についての受け入れや職員の派遣</p>	<p>障害者スポーツについて、広く市民に広報していくとともに、障害者スポーツを、競技スポーツや生涯スポーツとして支援していく体制を整えることが必要である。</p>	<p>[ -2] 実施されている障害者スポーツに関する認知度</p>
<p>イ 競技力の向上 (ア) 競技団体と学校運動部等の連携による素質・能力のあるジュニア選手の発掘や強化プログラムの作成、強化合宿の開催や遠征等により、ジュニア選手の育成・強化を図る。</p>	<p>小・中学生選手の強化 国民体育大会を目指すジュニア選手育成事業の実施 素質のある小・中学生選手を対象に、優秀な指導者を招へいし、早い段階から年間を通じて計画的な指導を行うことにより、将来、国民体育大会へ出場する選手の育成を行う。 &lt;平成20年度：6団体&gt; 【参考：「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】 中・高校生選手の全国大会等への出場権獲得に向けた取組強化選手育成事業の実施</p>	<p>県と連携して、年齢に応じて、発掘、育成、強化まで一環したプログラムを作成する必要がある。</p>	<p>&lt; -8&gt; 「スポーツ競技力の向上」の重要度</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
	<p>全国大会等で活躍する選手の育成を目指し、中・高校生選手を対象に強化講習会及び強化合宿又は遠征を計画的に実施する。          &lt;平成20年度: 28団体、31競技&gt;          強化選手と競技の普及・振興          広島市選手権大会の実施          市スポーツ協会加盟の競技団体の選手育成強化活動の成果を検証する場とする。          &lt;平成21年1月末現在: 28大会&gt;          スポーツ活動普及・振興事業の実施          競技者拡大や選手強化などスポーツの普及・振興を図るために市スポーツ協会の加盟団体が実施する事業に対し、一部を助成する。          &lt;平成20年度: 6団体&gt;</p>		
<p>(イ) 指導者研修会の開催、財団法人日本体育協会や中央競技団体等が実施する指導者養成制度を利用した指導者資格取得の促進、指導方法等についての指導者同士の意見交換会や研究会の開催などにより、優秀な指導者の養成・確保を図る。</p>	<p>指導者の養成          競技別指導者養成講習会事業の実施          国内の医科学、栄養学などの指導者・研究者を招へいし、講習会・研修会を実施することにより、指導者の養成及び資質の向上を図る。          スポーツ少年団指導者養成・研修事業の実施          指導者の資質の向上を目指し、次の研修を開催している。          ・ 広島市スポーツ少年団指導者会議          ・ スポーツ少年団指導者全国研究大会          ・ 広島県スポーツ少年団指導者研修大会          ・ スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習</p>	<p>指導者の養成・確保の取組については、指導者を取りまく環境整備が重要であるため、行政として支援していく方策について、調査・研究する必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; どのような人にスポーツや運動の指導をしてもらうことが最も多いか。          &lt; -2&gt; どのような人にスポーツや運動の指導をしてもらいたいのか。          &lt; -3&gt; 求める指導者とは、どのようなタイプの指導者か。</p>



<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
<p>(ウ) 休館日や開館時間外におけるスポーツセンター等の利用を促進するなど、競技団体の練習場所の確保等を支援する。</p>	<p>スポーツセンターにおける休館日の利用状況 &lt;平成19年度&gt; 中区スポーツセンター 10日 東区スポーツセンター 8日 佐伯区スポーツセンター 1日 スポーツセンター等における開館時間外の利用状況 &lt;平成19年度&gt; 総合屋内プール 298時間 中央バレーボール場 254時間 東区スポーツセンター 24時間</p>	<p>指定管理者と連携し、スポーツ関係団体のニーズにより一層弾力的に対応できる体制づくりを行う必要がある。</p>	<p>〔 市民意識調査になじまない。 競技団体へのニーズを把握する。 〕</p>
<p>(イ) 成長期に起こりやすいスポーツ障害の予防とその対策に向け、学校運動部、スポーツ少年団、競技団体と医療機関との連携を促進する。</p>	<p>成長期のジュニア選手をサポート ジュニア選手メディカルチェック事業の実施 スポーツドクター、アスレチックトレーナー等と連携し、ジュニア選手のメディカルチェックを行い、成長期にある選手の競技寿命の長期化と競技力向上を図る。 &lt;平成21年1月末現在：6団体、71人&gt; 国際大会出場選手助成事業の実施 トップアスリートが国際大会等で最高のパフォーマンスを発揮できるように、選手のコンディション調整を支援する。 &lt;平成21年1月末現在：7競技、20人&gt;</p>	<p>今後、現在の対象範囲(国民体育大会を目指すジュニア選手)を広げていくことが重要であり、医療機関を核とし、幅広く関係機関が連携していける方策を検討する必要がある。</p>	<p>〔 市民意識調査になじまない。 〕</p>
<p>ウ まちの活力創出に向けたスポーツの振興 (ア) 国際的・全国的なスポーツ大会等の開催・誘致等</p>			
<p>a 国際的・全国的なスポーツ大会の誘致や広島開催が定着しているヒロシマ国際ハンドボール大会や全国都道府県対抗男子駅伝競走大会等の国際大会、全国大会に対する支援とPRを行う。</p>	<p>「パートナー都市協定」の活用 平成17年9月に締結した(財)日本オリンピック委員会(JOC)との「パートナー都市協定」を活用し、トップアスリートの強化合宿や国際的・全国的なスポーツ大会を誘致し、競技力の向上や街の活性化を図ることとしている。 国際的・全国的なスポーツイベントの誘致</p>	<p>競技団体等と十分な事前協議を行い、受け入れ体制の整備を行うとともに、大会開催効果が最も高くなるよう、必要な支援、広報を行う必要がある。</p>	<p>[ -6] 会場に足を運んでも見たいスポーツイベントは何か。 &lt; -7&gt; スポーツ競技の国際大会に関心があるか。 [ -4] 情報はどのような手段で入手している</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料〕 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
	<p>第93回日本陸上競技選手権大会(平成21年度予定) 2006年FIBAバスケットボール世界選手権広島ラウンド (平成18年度) 2006バレーボール世界選手権第2次ラウンド広島大会 (平成18年度) 第12回世界ソフトテニス選手権大会(平成15年度) 【参考:「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】 広島開催が定着している国際大会、全国大会に対する支援 大会への補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 900万円</li> <li>・ ヒロシマ国際ハンドボール大会 450万円</li> <li>・ 織田幹雄記念陸上競技大会 290万円</li> <li>・ ひろしま国際平和マラソン 320万円</li> <li>・ アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会 160万円</li> </ul> <p>大会ポスターの配布、市のホームページや広報紙による 大会のPR</p>		<p>か。(入手したいか。) &lt; -7&gt; 「国際スポーツ大会 などの開催・誘致」の重要 度 &lt; -3&gt; スポーツ競技の国 際大会に関心があるか。</p>
<p>b 市民レベルの全国的なスポーツ大会等の開 催・誘致に取り組む。</p>	<p>市民レベルの全国的なスポーツ大会等の開催・誘致 &lt;主な開催実績&gt; 全国スポーツ・レクリエーション祭(平成14年度) ひろしま国際平和マラソン(市民マラソンとして 28 回開催)</p>	<p>既存大会の見直しを検討 するとともに、新たなスポ ーツ大会等の開催・誘致に 向け、競技団体等と連携し ながら、市民ニーズや全国 的な大会実績等を把握する 必要がある。</p>	<p>&lt; -5&gt; 「スポーツ・レク リエーションフェスティ バルなど市民が気軽に参 加できるイベントの増 加、内容の充実」の重要 度</p>
<p>c 国内外のトップレベル選手の強化合宿を積 極的に誘致するとともに、地元選手との合同 練習会や市民との交流事業を開催する。</p>	<p>強化合宿の誘致 JOCパートナー都市協定を活用し、トレーニング拠点 づくりのため中央競技団体等が広島市で強化合宿等を行 う場合に、施設使用料の減免や優先使用等の便宜供与によ り競技団体の活動を支援している。 &lt;合宿実績(平成17年度~20年度)&gt; 平成17年度 1回(ソフトテニス)</p>	<p>合宿の受入れ体制の整備 が必要である。 JOCや競技団体等と連 携し、合宿を誘致するだけ の魅力づくりやメリットな どを効果的にPRする方 法を検討する必要がある。</p>	<p>[ -6] 会場に足を運ん でも見たいスポーツイ ベントは何か。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 [ ] : 新規項目 : 再掲項目 〕</p>
	<p>平成18年度 3回(バスケットボール、ソフトテニス) 平成19年度 4回(ソフトテニス、バスケットボール、 サッカー、ハンドボール) 平成20年度 5回(ソフトテニス、サッカー、ハンド ボール(ブラジルの北京五輪事前 合宿)) 合宿中における市民との交流事業の実施 &lt;合宿中における主な市民との交流事業実績&gt; 平成18年度 バスケットボール男子日本代表チーム 歓迎式、サイン会、握手会 ソフトテニス女子ジュニアナショナルチーム 地元高校生との合同練習会 平成19年度 U-20日本代表候補(サッカー) ハンドボール女子日本代表チーム 市民の観戦 平成20年度 U-16日本代表候補(サッカー) 地元高校生との練習試合 ソフトテニス男女ナショナルチーム ソフトテニス教室 ブラジル男子ハンドボールナショナルチーム 地元中学生とのハンドボール教室</p>		
<p>d オリンピック本来の平和の祭典としてのあり方についての調査・研究に取り組む。</p>	<p>オリンピックのあり方についての調査・研究 オリンピック開催基準調査 東京都・福岡市の立候補に伴う開催概要調査 古代オリンピック発祥の地(ギリシャ)の状況調査 2016 東京オリンピック招致に伴う平和関連事業開催に向けた調査</p>	<p>JOC等関係団体との連携を図りながら、商業主義から脱却した平和の祭典としてのあり方に関する理念構築を行う必要がある。</p>	<p>[ -1] 広島でオリンピックを開催することについてどう思うか。</p>
<p>(イ) プロスポーツ・企業スポーツ等の振興</p>			
<p>a プロスポーツチームや企業スポーツチームが行う市民との交流事業のPRや仲介などの支援を行う。</p>	<p>プロスポーツチームや企業スポーツチームが行う市民との交流事業のPR 地域に出向いたPR活動</p>	<p>プロスポーツチームや企業スポーツチームからの情報収集、市民との交流に関</p>	<p>[ -9] トップス広島を知っているか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14 年度実施項目 ■ : 新規項目 □ : 再掲項目 〕</p>
	<p>広島市スポーツ協会のホームページや広報紙「ウイング」による広報 小学校へのチラシの配布 市民の様々な活動を支援するために運営している「ひろしま市民活動支援総合情報システム(ひろしま情報 a - ネット)によるイベント等の情報提供 【参考:「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】 仲介などの支援 各チームと地域団体との日程調整 会場の確保</p>	<p>するプランなどの提案に向け、関係団体との連携強化を図る必要がある。</p>	
<p>b 広島東洋カープやサンフレッチェ広島等の地元のスポーツチーム等の試合開催や成績等についての情報提供を行い、市民の応援気運を盛り上げるとともに、まちの活性化につなげる。</p>	<p>広島東洋カープやサンフレッチェ広島等トップス広島に加盟しているクラブチームに対する応援気運の醸成に向けた支援・協力 市の広報媒体(広報紙、テレビ、ラジオなど)を活用した試合開催のPR 公の施設(区スポーツセンター、公民館など)でのチラシの掲示・配布 JR広島駅前の広告塔への応援懸垂幕(カープ・サンフレッチェ)の掲出 広島広域都市圏エリアからの応援の実施 スポーツセンターへのトップス広島情報コーナー、トップス広島横断幕の設置 広島東洋カープやサンフレッチェ広島の試合の開催補助を行うスポーツボランティア制度の実施 【参考:「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】 地元スポーツチームや選手に関する情報提供 市ホームページを利用したの広島出身のオリンピック出場選手の紹介 市スポーツ協会のホームページや広報紙「ウイング」による地元スポーツチームや選手の紹介</p>	<p>関係スポーツ団体等と連携し、地元スポーツチーム等の活動状況を常に把握しながら、迅速に情報提供が行える仕組みづくりを行う必要がある。</p>	<p>&lt; -8&gt; プロスポーツ(野球、サッカーなど)やトップレベルのアマチュアスポーツの試合に関心があるか。 &lt; -9&gt; 「広島東洋カープ、サンフレッチェ広島などプロスポーツの振興」の重要度 &lt; -4&gt; プロスポーツ(野球、サッカーなど)やトップレベルのアマチュアスポーツの試合に関心があるか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
<p>c 地域スポーツ振興担当コーディネーターを中心に、トップス広島と一体的に取り組むスポーツ教室等の協働事業の充実や各区単位でのプロスポーツチーム・企業スポーツチームの市民応援組織の創設に取り組む。</p>	<p>トップス広島に加盟している各クラブチームと一体的に取り組むスポーツ教室等の実施          トップス広島スポーツ教室、トップス広島スポーツクリニック、トップス広島交流会等          トップス広島に加盟している各クラブチームによる指導及び交流会          &lt;平成19年度 7回(4競技)開催、720人参加&gt;          トップス広島ふれあいマラソン          トップス広島に加盟しているクラブチームの選手をゲストランナーに迎えてのマラソン大会          &lt;平成19年度 2回開催、243人参加&gt;          各区スポーツセンターを応援拠点として、各チームをPRするイベント等の実施          トップス広島情報コーナーの設置          トップス広島横断幕の設置          トップス広島応援隊事業の実施          ソフトテニス日本リーグでのN T T西日本ソフトテニスクラブの応援          サンフレッチェ広島応援機運向上事業の実施          試合観戦、サンフレッチェ広島DVDの放映</p>	<p>協働事業の充実に向けたニーズ把握や市民応援組織の創設に向けた仕組みづくりを行う必要がある。</p>	<p>[ -10] トップス広島によるスポーツ教室や合同練習に参加してみたいか。</p>
<p>d トップス広島の各チームと学校の運動部員等による合同練習の実施により、参加者の相互交流と学校運動部の競技力向上を図る。</p>	<p>トップス広島に加盟している各クラブチームのクリニック、講習会の実施          トップス広島スポーツ教室          N T T西日本ソフトテニスクラブによる伴中学校や大塚ジュニアの選手を中心とした競技経験者への指導          &lt;平成19年度 1回開催、100人参加&gt;          トップス広島スポーツクリニック          広島ガスバドミントン部による中・高校生のバドミントン経験者を対象とした指導          &lt;平成19年度 1回開催、63人参加&gt;</p>	<p>現在の取組を推進していくとともに、競技力向上に向け、運動部員等の練習参加に対する意向を踏まえ、実施内容を充実していく必要がある。</p>	<p>[ -10] トップス広島によるスポーツ教室や合同練習に参加してみたいか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋))</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
<p>学校教育の充実          ア 知・徳・体の調和のとれた教育の推進          (イ) 「豊かな心」をはぐくむ教育の充実          d 部活動など文化やスポーツにおける子どもの自発的な活動を促進するとともに、地域の人材の積極的な活用など支援体制の充実を図る。</p>	<p>Do スポーツ体育指導者招へい事業の実施          小学校(特別支援学校)の体育等に、原則として、各校年1回プロやスポーツ選手、地域の競技経験者等を派遣          &lt;平成19年度派遣状況: 113校、162回&gt;          運動部活動の活性化          中学校運動部活動活性化支援事業の実施          全中学校(64校)を対象に延べ64名の外部指導者を1人当たり年30回派遣          高等学校運動部活動指導者招へい事業の実施          高等学校(7校)に14名の外部指導者を1人当たり年37回派遣  <b>【参考: 「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】</b>          「広島市立学校スポーツ活動支援人材バンク」の設立          小学校の体育、中学校のスポーツ活動を支援するため、専門的技術・指導力を備えた地域のスポーツ経験者を指導者として人材バンクに登録し、派遣          &lt;平成20年度登録者数: 21名&gt;          「トップス広島」加盟団体との連携・協力          中学生のスポーツへの興味・関心を高め、体力の向上を図るとともに、運動に親しむ習慣を養うために、定期的に交流し、直接指導を受ける。          異校種間によるスポーツ交流の実施          運動部に所属する中・高校生が小学生を指導することにより、児童の運動やスポーツに対する興味・関心を高めると共に運動部活動の活性化を図る。</p>	<p>スポーツに対する子どものニーズを随時把握するとともに、関係団体等と連携し、地域の人材の確保や活用方策について検討する必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツは誰に教えてもらうことがいちばん多いか。          &lt; -2&gt; スポーツをどんな人にいちばん教えてもらいたいか。          &lt; -1-1&gt; スポーツのクラブへ入っているか。          &lt; -1-2&gt; 入っている場合、いちばんよく参加しているスポーツのクラブはどれか。          &lt; -1-3&gt; 入っていない場合、もしスポーツのクラブにやりたいスポーツがあったら、そのクラブに入りたいか。          &lt; -1-4&gt; 入りたい場合、スポーツのクラブはどれか。          &lt; -2&gt; どういう学校の部活やスポーツのクラブだったらいいと思うか。</p>
<p>(ウ) 「健やかな体」をはぐくむ教育の充実          a 子どもの基礎的な体力を向上させるとともに、スポーツに親しむ習慣や意欲をはぐくむため、体育科や運動部活動、自然体験活動などの充実を図る。また、授業開始前の時間などを活用した学力向上</p>	<p>幼稚園          幼児期の体力向上事業(文科省委託事業)の実施          (平成20年度~平成21年度)          「幼児期における体力づくりプログラム」についての実践研究(実践園2園・協力園2園)          小学校</p>	<p>体力向上への取組を一層充実し、また全市的な取組となるよう検討する必要がある。          スポーツに親しむ機会の拡充や新たな運動プログラ</p>	<p>[ -15] 体育の授業以外に、学校で何か運動しているか。</p>

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性          (広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料)          「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目          (&lt;&gt;: H14年度実施項目          [ ]: 新規項目          : 再掲項目)</p>
<p>にも結び付く効果的な運動プログラムの開発に取り組む。</p>	<p>体力づくりステップアップ事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「体力アップハンドブック」の活用              毎日の運動量を記録し、年間で 10,000 点を目指し、達成した児童に「努力賞」を授与</li> <li>・ 「1校1体力づくり事業」の取組              「新体力テスト」の全校実施の他、大休憩や昼休憩に各学校で1つの体力づくりの取組を年間通して実施</li> <li>・ 「体力アップ認定証」、「体力優秀賞」の交付              「新体力テスト」の結果が一定の基準をクリアした児童及び全国平均を全て上回った児童に交付</li> <li>・ 「体力づくり推進モデル校」の指定(3校)              (平成19年度～平成20年度)</li> <li>・ 小学校授業資料の作成              「健やかな体を育む体育の授業づくり推進委員会」を設置し、授業づくりのポイントが分かる資料の作成</li> <li>・ 「体力づくりチャレンジ」(縄とび)の取組              4種目の長なわに学級やグループで挑戦し、ランキング方式で市教育委員会ホームページにて紹介</li> <li>・ 「保護者啓発リーフレット」の配布              保護者の協力を得るため、体力づくりの重要性等についての啓発用リーフレットを、毎年、小学生の保護者を対象に配布する。</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「体力づくり推進モデル校」の指定(5校)              (平成20年度～平成21年度)</li> <li>・ 「体力優秀賞」の交付              「新体力テスト」の結果で、全国平均を全て上回った生徒に交付</li> </ul> <p>大会派遣補助</p> <p>県大会、中国大会、全国大会に出場する生徒を対象に、広島駅から開催地までの往復交通費を支給。</p>	<p>ムの開発に取り組む必要がある。</p>	

<p>広島市総合計画におけるスポーツ振興の方向性 〔広島市基本構想・基本計画特別委員会説明資料 「主要改定課題に対する対応策」(抜粋)〕</p>	<p>現在の取組</p>	<p>今後の課題</p>	<p>市民意識調査項目 〔 &lt; &gt; : H14年度実施項目 ■ : 新規項目 □ : 再掲項目 〕</p>
	<p>中学校運動部活動活性化支援事業の実施 全中学校(64校)を対象に延べ64名の外部指導者を1人当たり年30回派遣 高等学校運動部活動指導者招へい事業の実施 高等学校(7校)に14名の外部指導者を1人当たり年37回派遣 各校種共通 体育大会の開催 小学校 : 水泳記録会、陸上記録会 中学校 : 選手権大会、総合体育大会、新人大会 高等学校 : 総合体育大会 「新体力テスト」全校実施 テスト項目 : 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中・高は持久走)、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ(中・高はハンドボール投げ) 【参考 : 「広島市のスポーツに関する基礎的データ」】</p>		
<p>イ 教育環境・教育条件の整備・充実 (ア) 学校施設の計画的な整備・充実 c 学校体育施設の充実やその有効活用を図るなど、多様で魅力あるスポーツ環境の整備に取り組む。</p>	<p>武道場の整備 武道指導の充実を図るため、中学校の新設、改修に合わせて計画的に武道場を整備している。 平成20年度末(予定) 整備校数 : 64校中34校 学校体育施設開放事業の実施 市立の小・中・高等学校の体育施設(体育館、プール等)を学校体育の支障のない範囲で、地域住民のスポーツ活動の場並びに児童・生徒の遊び場、諸活動の場として開放している。 平成20年度開放校 : 小学校(140校中138校) 中学校(64校中60校) 高等学校(8校中1校)</p>	<p>子どもや学校、地域社会のニーズを把握し、計画的な施設整備やニーズに対応した活用方法の検討を行う必要がある。</p>	<p>&lt; -1&gt; スポーツ・運動施設について、よく使う施設と使いたい施設はどれか。</p>